A13 ロシア沿海州ウスリースクの夏期における蚊採集成績上村 清[○]、白井良和 (富山医薬大・医・感染予防医学)

Mosquito survey in Ussuriysk, USSR in summer

Kamimura K. and Shirai Y.

1998 年の 8 月 5 日から 9 日にかけて 5 日間、ロシア沿海州のウスリースクからウラジオストクにかけて蚊発生源を調査した。

最も多く採集された種は *Aedes vexans* で、草原溜から、道路溜、林内溜、河床溜、排水溝、井戸にまで広範に発生していた。同様発生源や池から *Anopheles sinensis*、*Culex orientalis* も採集された。林内小池から *Cx. hayashii*、溝から *Cx. rubensis*、金属容器、肥料溜や井戸から *Cx. pipiens* や *Cx. vagans* が採集された。

Ae. koreicus も多く採集され、*Ae. gellidus*、*Ae. flavopictus* とともに水槽、缶、樽、古タイヤ、ビニールシート、井戸などの人工容器や樹洞、倒木溜から採集された。

蚊相は北海道に近似し、日本産との異同について検討すべき種も 3、4 種存在しているが、今回はそれら問題種は採集出来なかった。

A14 イナトミシオカ *Culex modestus inatomii* の累代飼育吉田政弘[○] (大府公衛研)、水田英生・松本昭子 (関空検疫所)Laboratory breeding of *Culex modestus inatomii*

Yoshida M., Mizuta H. and Matumoto A.

1) イナトミシオカは、1967, 68 年上村らが、岡山県倉敷市の干拓地で採集されて以来、本邦においては報告がない。今回我々は大阪湾にある関西空港内において 1998.6 ~ 10 月にかけて発生している事を確認した。本蚊の幼虫は、滑走路脇の草地(A)、土手脇草地(B)、側場周道路の溜め桧(C)で見い出された。これらの 3 地点からたまり水を持ち帰りイオンクロマト法により Cl イオン濃度を測定した。A では 6.9mg / l、B は 152.9 mg / l、C では 3331 mg / l であった。2) 1998.9 ~ 10 月に採集された成、幼虫の飼育を試みた。ヒヨコから吸血した 1 雌から 309 卵粒を得、20℃、14L、の恒温恒湿槽で飼育した。幼虫は、水温 19.5℃、0.5% NaCl 蒸留水中で飼料を与えた。羽化開始後 10 ~ 11 日目に無吸血産卵と思われる 5 卵塊を得た。60 雌を個別に産卵させ、53 雌 (88.3%) に無吸血産卵が認められた。